

# ITエンジニア外国人採用へ

## システムトラスト フィリピンに開発拠点



外国人向け研修を半年以上実施する(写真は日本人向け研修の様子)

外国人向け研修を半年以上実施する(写真は日本人向け研修の様子)

自動車ディーラーや家電販売向けのシステム開発を手掛けるシステムトラスト(本社名古屋市中区錦、中浦正浩社長、電話052・212・2951)は、外国人の採用に乗り出す。国内で慢性的にITエンジニアが不足しているため、毎年定期的にフィリピン人を5人採用する。1年後をめどに同国に開発拠点を設けることも計画している。

(倉科信吾)

人材派遣業の三晃(本社ITエンジニアの求人募集を安城市)がフィリピンでITして現地です。3カ月間、日本語研修を行う。その中から、システムトラストが人材を選抜する。採用したITエンジニアは日本で7~8カ月間、日本語とIT業務の研修を受けた後、同国に新設する開発拠点で勤務する。同社は日本で受注した業務の一部同国の開発拠点に委託する考えだ。また、希望に合わせ日本で継続的に働けるようにすることも検討する。1年目は10人を採用し、2年以降は5人とする計画。当面はフィリピン人が採用の対象だが、将来的には他の国

からも採用を進めていきたい考え。

同社の現在のITエンジニアは約50人。中浦正浩社長は「優秀な外国人を毎年雇用して人材不足の課題を解消し、持続的成長を目指す」と話している。

日本ではITエンジニアが不足し、製造業が盛んな東海地域では採用難が特に深刻だ。人口減少で今後ともエンジニア不足が進行すると見られている。中小企業の間で外国人を活用する動きが一段と広がりそう